

グループワーク

⑤-1【小学生以上チーム】

二宮小学校・二宮中学校のグラウンドにおいて、小学生の野球チームの利用に困難がある（現在、二宮小学校のグラウンドではバッティング練習の制限などがあり、自由に野球ができない。理由はボールが道路に出てしまうことと、窓ガラスの破損の危険性があるため）。そのほか具体的な意見が出された。

○子どもの体力、運動について

- ・子どもの体力向上を進めるならば小学校以降のスポーツ活動を支えて欲しい。
- ・子どもたちの運動能力の低下があるなら、町としてスポーツを活性化するよう力を入れてほしい。

○二宮小学校の校庭利用について

- ・学校のグラウンドが一方的に使用できなくなったことがある。学校サイドの判断のみで決められることなのか。
- ・二宮小学校のグラウンドを野球で使えるようにしてほしい。試合はダメでも練習ぐらいはさせてほしい。グラウンド探しや荷物が多い中での移動など、父母の負担も大きく、それを危惧して野球好きな子でも入団できない状況。このままでは先細りになる。どうにかしてほしい。
- ・二宮小にいるがゆえの校庭利用の不平等感を感じる。内容緩和の可能性はあるのか。
- ・二宮小の校庭の木を切ってほどうか。狭いことは怪我の原因のひとつ。
- ・一色小、山西小にはホームグラウンドがある。代わりに町民グラウンドを無料で利用できるなどの配慮がほしい。
- ・グラウンド有料化のうわさがあるが、そうなることは納得できない。
- ・野球をやる公園や広場がない。
- ・西中のグラウンド開放がないのはなぜか。
- ・特に大きな子どもの活動する場がない。小学校の協力を得られない。

○その他

- ・小、中学校エアコン設備の金額が高すぎる。他の業者での検討が必要。もしくは他に考えられないか。
- ・町民運動会は地区で参加者が集まらない。渋々参加して集めているのが現状だ。あり方を考える時期では。なぜそこにお金をかけるのか。
- ・地区への防災費補助金が毎年5万円、本当に必要か。町内会費で賄えるのでは。使途チェックが必要ではないか。
- ・中学の越境通学の決定は簡素化してほしい。部活が理由だと早いですが、その他の理由（いじめ等）だと時間がかかる。入学説明会の1週間前に通知が来た。
- ・今後も花火大会を続けてほしい。今年とても好評だった。
- ・ローラー滑り台を無料化して入山料などの収入を考えては。
- ・施設の有料化が押し寄せてくる。お金を取るころは他にもあるのではないか。

グループワーク

⑤-2【幼児&小学生チーム】

「二宮町で育つわが子たちが、どのように育ってほしいか」を共有し、それについての課題を出し合った。理想的なまちのあり方や、子どもを中心としたまちづくりの観点での意見も多数あった。

○こんな子どもに育ってほしい

- ・自分のやりたいことを見つけられる子、それを思い切りできる子。
- ・楽しいことを自ら生み出していける子に育ってほしい
- ・ありのままの自然体でいてほしい
- ・いつでもどこでも自分でいられるよう育ってほしい
- ・心身ともに元気で。
- ・通学路・一人遊びで安心して外に出せるように

○こんな子どもに育ってほしい — そのためにはどうすればよいか。

(教育・学校等)

- ・その子の個性を認めた、画一的な教育からの脱却（意見多数）
- ・山西小で、絵を描くときに目の色、肌色など色を指定していたのを見て戸惑った。
- ・安全な道の整備・遊び場。
- ・寄り道できるような場。
- ・登下校は集団なので、行動範囲を狭めている反面、安全の面では良いともいえる。
- ・安全を確保することと、家にいったん帰らなくても子どもが学校で遊べることは相対する事であるが、コミュニケーションで解決できないか。
- ・全国学力調査結果を公表することは、学校や先生のプレッシャーではないか。町独自のカラーで。結果公表の是非はどうか。
- ・町と学校、親のつながりを強くしてほしい。

(町のあり方)

- ・ハコモノに頼らない行政。
- ・国の予算に頼らない財政。
- ・町づくりの意識について発想の転換が起こるような議論の場をもっと増やしてほしい。
- ・大人が作ったルールではなく、子ども目線で考えたい。今は大人が決めたルールの中に子どもを押し込めている。

(公園、遊び・遊び場、自然)

- ・公園にもっと灯りを。
- ・ボールが使える公園を増やしてほしい。
- ・ボール遊びが禁止されているため、大磯・中井町の公園へ遊びに行く。
- ・1~2歳と5~6歳では遊びが違う。
- ・砂場がガチガチ、公園として機能していないのではないか。
- ・広い場所がない。

- ・運動能力は6歳までに身につく。
- ・運動不足が心配。
- ・長畑公園は、公園愛護会が活動をしている。
- ・空地こそ必要で、必ずしも遊具は必要ない。
- ・良い空き地があれば遊びを作り出す。作り出す場を求めている。
- ・整備には予算は不要、発想の転換が必要。
- ・吾妻山すべり台は有料が恥ずかしい。役場や駅まで距離を延ばすなら100円でもいい。
- ・吾妻山は自然を生かした整備をしてほしい。アスレチックが昔はあって好評だった。
- ・雨の日に遊べる場がほしい（他市町村には雨でも遊べる公共施設がある）。
- ・百合が丘の「子育てサロン」もルールが厳しくて心が休まらない。
- ・（二宮町だけではないが）「子どもがうるさい」と言われることがある（ボール遊びや公園での遊び）。
- ・開発ではなく、ほったらかしでない自然。
- ・子どもの遊び場としての梅沢海岸の活用。
- ・ありのままの自然あふれる環境。
- ・移住の理由は、自然の環境があること。それを活かすのは町の強みにもなるはず。

(保育園)

- ・こどものための保育園。
- ・入れたい園がない（複数）。
- ・質を高めたい（複数）。
- ・園の中身まで見ていく人が少ないのではないか。
- ・保育が子どものためではないのでは。
- ・自然を活用した園があるといい。
- ・いい感じの田舎なのに、「泥を触ったことのない子ども」がいる。都会ではできない保育を。
- ・中村保育園では外遊びを良くしている。
- ・私立だから難しいのもわかるが、町が私立保育園の保育内容にまでもっと立ち入れないのか。
- ・質の向上など、事業として予算のつかないものは役場もやりたがらないのでは。
- ・子どもたちに本物の自然を与えたい。水と泥をたっぷり。
- ・はだしで走りまわれる。
- ・自由にハイハイできる場所を保障する。

(その他)

- ・地区割りの再考が必要。
- ・音楽や踊り、運動大会のようなイベントがたくさんあるといい。
- ・こぢんまりで良いので、音楽などに触れ合える機会を増やしてほしい。

グループワーク

⑤-3【乳幼児チーム】

くつろぐことができ、また交流もできる居場所や、身近な課題について意見が出された。

○遊ぶ場所など

- ・雨の日の遊び場がない。児童館など地区の施設が開放されていないため。小児医療証提示で施設が無料化できないか。
- ・夏も屋根のある場所で遊ばせたい。
- ・下町児童館は土曜日に親が付き添いの上、開放できている。
- ・何もなくても良い。走り回れる公園がほしい。
- ・小児病院跡地では、ハチが飛んだり草花があるところが良いのに、国に貸すのは困る。
- ・山西は狭い公園しかない。
- ・小児病院跡地がなくなるととても困る。くつろげる場所として老人も来ている。車が増えると遊びにくい。

○子育てサロンについて

- ・小田原市橋地区にある子育てサロン（こゆるぎ）のような雰囲気が良い
 - 全体的に自然なくつろぎがある。
 - 保健師さんがのんびりしていて圧迫感がない。
 - 雨の日や夏の暑い日の遊び場としても良い。
 - 土日祝日はスタッフはいないが場所は使える。
- ・栄通りサロンは居づらい。担当者が個人に干渉しすぎ。なごみにいきたい。疎外感を感じることもある。
- ・栄通りサロンは、駐車場がないのでバスでないと行くことができない。
- ・外から越してきた人にとっては、気安くものを言ったり、聞いたりできる場所がない。
- ・公園では近所のお母さんとコミュニケーションが取りづらい(何でも話せるわけではない)。

○交通の便について

- ・コミバスと神奈中バスの時間帯が同じで無意味だ。
- ・バスは1時間に2本ぐらいしかない。
- ・子どもを持つと移動が困難になるし、車がないと不便。
- ・ベビーカー利用の際、道が悪い。

○その他

- ・保健センターの保健師さんが、サロンやサークルのことを知らない。
- ・不妊症対策。お金がとつてもかかる。体外受精に対しても助成を検討してほしい。